

MILANO SALONE 2012

AD CORE DEVISE クリエイティブディレクター 瀬戸 昇 ミラノサローネレポート

発行日:平成24年7月18日
 発行者:富山・ミラノデザイン交流倶楽部
 富山県高岡市オフィスパーク5
 社団法人富山県デザイン協会内
 TEL:0766-63-7140



ミラノサローネ期間中はミラノ市内で様々なイベントが行われます。サローネは国際展示場フィエラ会場で行われるSalone Internazionale del Mobileの事でしたが、最近では雑誌INTERNIが主催する市内ショッピングイベントのフォーリサローネが大きくなり、ミラノ市内で行われるデザインイベント全体を表現するようになりました。トルトナエリアで開催されるZONA TORTONAやミラノ大学構内でのINTERNI LEGACYなど今年も多くのイベントが市内で開催されました。ミラノ通いも27年目になり、フィエラ会場でプレスとして取材を始めて10年、いつも定点観測をしているブランドに絞って取材し、2年ごとに行われているキッチン展/Eurocucinaを取材しました。

経済とデザインは密接な関係があります。デザイナーが独自に形だけを作り出している訳ではありません。市場に合わせた製品作り、買ってくれる人に望む形を作るのが商売の鉄則です。車メーカーがその代表的なものではないでしょうか。インテリアの世界も同じです。今年のミラノではその傾向が本当にはっきりと分かる展示が多く見られました。

ヨーロッパの景気はスペイン、イタリアの経済が低迷し、ヨーロッパ全体がかなりの低調

ユーロ信用不安によってスペインの不動産バブルの崩壊、イタリアの景気も最悪。フランスなどヨーロッパ全体が深刻経済状況にあります。ファッション業界など中国への生産移転が進み、昨年は繊維工場など200社を越える倒産など、ユーロ圏内商圏のメーカーが低迷していますが、輸出はユーロ圏外への海外輸出は好調とも聞きました。(ドイツ車産業は絶好調)

中国への本格的販売とシンガポール、マレーシア、香港へ

展示された製品についてはユーロ圏への低価格製品と、東南アジアや中国向けの高価格製品に方向性が分かれていました。今までのデザイン盗用の事もあり二の足を踏んでいたブランドでは昨年から中国への販売が大幅に伸び、本格的な販売ルートを作り売上を伸ばしていました。また、東南アジアでの販売、特にシンガポール、マレーシア、香港などコンドミニアムへの売上が好調でその方面への製品提案が見られました。

今年も好調なのはCAVALI。CAVALIはロシア、中国への販売は絶好調で、今年は150%の予想と驚きの伸びを見せています。ベッドメーカーのFlouはデザイン盗用問題で中国への販売は消極的だったが、販売拠点を増やし、展示も半分を中国向けにし、重要な販売先になっています。



FLEXFORM-Mood:東南アジアから中国へ



LEMA:シンガポール、マレーシアのコンドミニアムへ



CAVALI:今年もロシア、中国の販売で売上増



Flou:中国向けにベッドに使用すべきでない布ベルベッドを使用する。

コントラクト市場から住宅市場へ アメリカ市場とその関係市場

主要ブランドは低迷するコントラクト市場から住宅市場へシフトする為にインテリアシーン提案型への展示になり、販売先は中国、東南アジアだけでなく、景気が戻りつつあるアメリカ市場とその関係市場へもひろがりつつあります。



zanotta:インテリアシーンの展示に



Vitra : Vitraホームとして展示



Minotti:アメリカモダン住宅のインテリア



Molteni&C:現代アートを使用した展示

Design/デザイン

世界的な景気の低迷はデザインにも影響を与えています。大幅に伸びている東南アジアや中国への販売ルートを持ったブランドは勢いがあり、ますますその方面へのデザインを発表していましたが、多くのブランドは苦勞しています。

長持ちするデザイン、手堅い製品作り=オーソドックス

景気の低迷が続く中、顧客の価格、品質に対する目がますます厳しくなり、多くのブランドでは製品の品質向上と価格の見直しを行っています。市場への提案では、今年も長持ちするオーソドックスなデザインが多く見られました。長持ちするデザインが必要。ソファはよりオーソドックスな長く使えるデザインが続いています。



Cassina:ピエロ・リッソーニの新作



FLEXFORM:アントニオ・チッテリオの新作

製品のモデファイ(改良)と復刻。バリエーション展開

ますます低迷する景気から開発費のコスト低減された事から復刻や売れ筋からの仕様変更が今年も多く見られました。売れている物のバリエーション展開などを行うのもその事からで数年前の売れ筋のバージョンアップもありました。復刻はペリアンやジオ・ポンティなど巨匠の1950年代の物だけでなく1970年代の製品も見られました。



Poltrona Frau:復刻ソファとバージョンUP



Cassina:シャルロット・ペリアンの1950年代

アメリカンのインテリア、ミッドセンチュリー(北欧ミッドセンチュリー)

ミラノ市内のお金持ちの学生を中心にラルフローレンやコンバースのブームが今年も続いています。アメカジやプレッピーなどの世界的なファッションブームから、アメリカのLAモダン住宅で多用される現代アートを取り入れたインテリアが多く見られました。アメリカTV等の1960年代のブームもあり、デザインもアメリカンミッドセンチュリーをテーマにしたブランドも見られました。その中で北欧ミッドセンチュリーがあったのは50,60年代のアメリカの住宅で使用されたのは北欧家具だったからです。



Flou:アメリカンミッドセンチュリーイメージ



Minotti:テーマはアメリカンミッドセンチュリー



Giorgetti:ブースに映される米国映画は1961年



LEMA:成形合板椅子はミッドセンチュリー

コンパクトな製品、若い世代への提案

若い世代へのコンパクトな製品も多く見られ、キッチンも住宅事情に合わせたコンドミニウム用サイズがありました。高級コンドミニウム用のショー的な製品とは別の、EU圏内用の実売を考えた製品サイズとして提案されていました。



zanotta:コンパクトなシステムソファは若者へ



Cassina:ルカ・ニケットのソファ



FLEXFORM:コンパクトなソファとベッド



MODULNOVA:コンパクトなキッチン

中国向け=分かりやすいデザイン、欧米向けとは別

本格的な中国への販売を開始したブランドが多くなり、デザインも中国向けのデザインが見られ、上海在住のデザイナー起用もありました。やり過ぎ感のあるゴージャスなデザインが好調で、シンプルモダンなデザインは難しい。



FLEXFORM-Mood:東南アジアから中国へ



Flou:カルロ・ロンボのベッドも中国向け



CAVALI:中国への売上が好調



CAVALI:Flouのベッドよりもゴージャスに

Color/カラー

インテリアのカラーはファッションに影響されますが、ファッションと違い長いサイクルで考えないとけません。

景気の動向に大きく左右されるカラー。一昨年からファッションのブルーと同じでペトリオールブルー(黒ずんだブルー)でしたが、今年のミラノコレクションのトレンドはイエローとグリーンです。しかし、その色はあまり見られず。基本色に同系色の組み合わせが多く見られました。

ファブリック：基本白、ライトスモーキー。ダーク系も

ソファやベッドなど価格に関係する広い箇所には、長く使えるような色、白やライトグレー、ベージュが基本です。様々な色に見える展示も差し色で見えているだけで、基本はベーシックな色。上位メーカーは均一カラーでなく、様々な顧客に対して多くのカラーシーンに分けての展示がされていました。



Molteni&C:白とグレー



zanotta:ライトベージュ



FLEXFORM:コーナー別に色を変えての展示。



クッション、小物：差し色は同系色の多色

クッションは同系色で多色の組み合わせ。無地で柄の入った物や、ステッチ加工して表情を出した物が多く見られた。これはコスト的に高い布を使わないで表情が付けられる手法として参考になります。差し色としてはクッションでなく、ラウンジチェアやツールが使われ、デコレーションの本等で色が付けられた展示が見られました。



B&B:同系色のクッション



無地にキルティングや刺し子など加工された布



Poliform:クッションは同系色で小物で差し色

インテリア、木色：ダーク系に

スタイル展示はダーク系が多くウォールナットを使ったダークな空間が多く見られた。これは東南アジア、中国向けに高級感を出す為に分かりやすい手法で、欧米向けとは違う提案でした。日本では節電から電気消費の少ない明るい空間が今後増えると思えるので、日本ではあまり参考にならないように思えます。



Giorgetti:展示品ブースがウォールナット



FLEXFORM:ブースがウォールナット



Flou:ダーク系のインテリアは中国向け



Varenna:ダーク系のインテリアに

新しい色：タバコカラー、ライトブルー、グリーン

一昨年からペトリオールブルーに変わって、今年多くのブランドで聞いた色はタバコカラー。柔らかなブラウンの事。木部染色のタバコステインなど様々なタバコカラーと聞きました。新しく感じたのはアメリカンミッドセンチュリーの印象を持つライトブルー、草色でした。



Minotti:タバコブラウンの革



Minotti:タバコステインの木部



Giorgetti:タバコブラウンの麻布と革



FLEXFORM:タバコブラウン

Material/マテリアル

Fabric/布=リネン

ナチュラルな優しい雰囲気、環境に配慮した印象を与え、オーガニックな印象と高級感も出せるリネン素材が多く見られた。モケット素材も多く見られたが、これは東南アジアや中国向けの製品に使用されていました。



Cassina: ナチュラルイメージのリネン布



Flou: ウォールナットと白リネン布



Giorgetti: タバコカラーのリネン布



Flou: 中国向けのベルベッド

Leather/革

艶消しの手触りの良いアニリン仕上がが多く見られる。ライトグレーが多いが、ブラック、ブラウンのダーク系の物も見られた。Poltrona Frauのセンチュリーレザーのストーンウォッシュの革とブルーのグラデーションも目を引きました。



Giorgetti: ライトグレーの艶消し革



Minotti: 艶消し黒革



FLEXFORM:
タバコブラウン革



Cassina: Poltrona Frauの
センチュリーレザーを使用



Poltrona Frau:
ブルー革

Wood/木

多くのメインブランドが、昨年までの明るいオーク染色塗装が今年ではウォールナット材に。アメリカミッドセンチュリーイメージのインテリアからきています。オーク材のタバコステインなどブラウン系や、高級感を出すダーク系も多く見られました。(中国向)



Giorgetti: 展示品の全てがウォールナット



Ceccotti: クリストフ・ピエのデスク



lapalma: 展示品の木製全てがウォールナット



Varenna: キッチンの新作に縦目のウォールナット

Surface/表面材

収納の表面材としてメラミン樹脂が多く見られました。これは生産日数短縮する為に塗装仕様よりメラミン樹脂化した為です。新しい素材としては銀メッキ仕上げのテーブル。キッチンでは新しい人工大理石のサイルストーンが多く見られました。



Flou: 収納扉の布目メラミン



LEMA: テーブル天板



LEMA: 収納全体が布目のメラミンに



Ceccotti: デ・コッティの銀メッキデスク



icon: サイルストーン

Paint/塗装

艶有りと艶消しの組み合わせが新鮮でした。家具ブランドだけでなく、キッチンブランドでもピューターカラー(錫色)と呼ばれるシルバーメタリックが見られた。



Minotti: 艶有塗装の天板とマットな革



Minotti: 艶有と艶無の組み合わせ



M&C: 艶有と艶無
4.



Snaidero: シルバーのピニンファリーナデザインの
キッチン

(後書き)

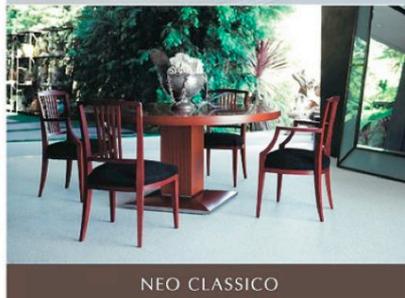
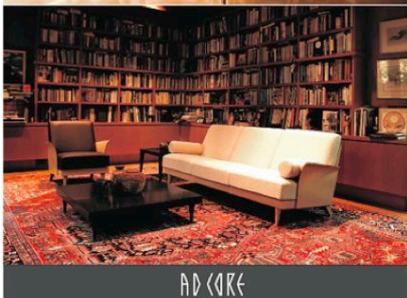
今年のミラノは景気の影響がはっきり製品提案に現れ、今や重要な販売先になっている中国や東南アジアへ向けた製品デザインや、素材使いが分かる展示会でした。会場では中国人バイヤーの姿が多く見られ、以前のような田舎っぽい姿でなく、今のファッションに身を包んだ中国人が目につきました。日本人デザイナーの姿はまだ見られたが、製品デザインやインスタレーションに中国人デザイナーを起用したり、デザイナーの流行も移りつつあり、イタリア人の商売に対するしたたかさを感じました。購入される人に対しての製品企画やデザインは当たり前の事ですが、今年のはっきりこの事が認識させられました。活躍するデザイナーはプロダクティブなデザイナーよりもブースデザインやデコレーションまで含めたインテリアシーンを考えられるデザイナーの活躍が多くなっています。展示ブースも住宅をイメージしたインテリアシーンが多くなり、製品単体の販売でなくインテリアスタイルの提案型の展示がますます増えていました。

筆者 瀬戸 昇

株式会社エーディコア・ディバイズ 専務取締役 クリエイティブディレクター



- 1983年 九州産業大学芸術学部インテリアコース卒業
- 1985年 株式会社エーディコア入社
- 1987年 株式会社エーディコア取締役就任
- 1993年 ミラノサローネにて AD CORE WORLD COLLECTION 発表
- 1996年 グッドデザイン賞受賞
- 1997年 エーディコア・ディバイズ/AD CORE DEVISE INC.共同設立
専務取締役就任
- 2003年 グッドデザイン賞受賞
- 2008年 国際文化会館会員
- 2012年 社団法人日本インテリアデザイナー協会理事就任



AD CORE DEVISE INC. エーディコア・ディバイズ

東京本社：〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-13-2 TEL 03-5778-3341 / FAX 03-5778-3390
大 阪：〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-12 SEDIC PLACE 2F TEL 06-7777-8555 / FAX 06-6265-2080
名古屋：〒451-0081 名古屋市中区名塚町1-77 TEL 052-990-8880 / FAX 052-524-5001
www.adcore.co.jp